

#818 小規模こそICT施工を！イメージが変わった



■ ■ 現場詳細 ■ ■ 新潟県南魚沼市

一般国道291号の渋滞緩和を目的とした交差点と県道の道路改良工事

【施工範囲】 460m 【施工土量】 盛土780m<sup>3</sup> 切土880m<sup>3</sup>

【ソリューション】 Smart Construction Dashboard

【稼働建機】 PC128USi

(掲載月：2023年6月)

今回こそはICT施工にチャレンジ



■ ■ 導入経緯 ■ ■

(株)いさはい組 工事部部长 小林万也さん

一昨年、河床掘削現場をICT施工で、施工する予定でしたが諸事情で採用が見送られてしまい、ICT施工ができずに残念に思っていました。ICT施工をやってみたいと思いはありましたが、ICT施工に見合う現場がなく、今回もとても小規模な現場でしたので、ICT施工は向かないだろうと思っていました。

そんな時に、担当者より小規模現場で部分的にICTを活用する方法があるとの説明を聞き、チャレンジすることを決めました。

また見送られたらという不安はありましたが、ICT活用工事を申し出たところ、思いのほか反応が良く、部分的な活用ではありましたが、協議もスムーズに進み導入の運びとなりました。

小規模現場は向かないと思っていた



■ ■ 導入効果 ■ ■

(株)いさはい組 工事部部长 小林万也さん

ICT活用工事に関わる協議も施工も、難しい印象を持っていましたが、実際にはそこまで難しいことはありませんでした。

一度経験をすれば次は余裕をもって段取りができると思います。

ICT建機の操作も、「パソコンが苦手だけど大丈夫？」と当初はオペレーターも不安を感じていたようですが、いざ施工が始まるとスムーズに勾配もきれいに仕上げていました。

今回の小規模現場でのICT施工は、当地域にとって意味のあるものとなりました。「小規模でもICT施工をしている実績」があるという話が広がり、ICT施工の普及につながったと思います。

まだまだ、ICT施工といえば大規模現場のイメージが強いです。私も導入する前までは小規模現場には向かないと思っていましたし、大規模・小規模それぞれのメリットを理解して導入する必要がありますね。

今回の現場がきっかけで、スマートコンストラクションレトロフィットキットも購入しました。これからは、経験値を積むために小規模現場こそICT施工を活用していこうと思います。

(株)いさはい組 様

1948年創業

当社では70年以上の歴史を礎とし、さらなる未来へ向かって、信頼される工事・より高い安全性・ユニークな技術革新を、力強く推進していく所存でございます。



工事部部长 小林万也さん